

学校給食の無償化に

早急に取り組むべきです

こども家庭センターについて

概要について伺いいたします。

保健福祉部長 こども家庭センターは、妊娠期から子育て期まで、すべての子ども、妊産婦、子育て家庭、また女性のための総合相談窓口として、令和7年4月に子ども福祉課内に設置された。

健康増進課で担当している母子保健機能と、子

ども福祉課で担当している児童福祉機能が一体的に妊産婦や子育て家庭に対する相談支援を行い、子どもが安心して健やかに成長できることを目的とし、切れ目のない、継続的な支援を実施している。

今後の目指す姿について伺いいたします。

保健福祉部長 こども家庭センターは、妊産婦から子育て、女性の悩み等、

様々な相談をすることが出来る総合相談窓口であるので、それらに対応する職員のスキルアップが重要と考えている。

また、妊産婦や子育て世帯の方からのニーズを集約し、関係機関と連携するとともに地域資源を活用しながら、安心できる出産と子育て、子どもの健やかな成長の一助となるような事業の実施について検討し続けるとともに、こども家庭センターに相談してみよう、相

学校給食の無償化をぜひお願いします



平塚 明
(ひらつか あきら)



録画映像
はこちら

談してよかったと思っていただけるよう、事業の充実にも努めていく。

給食の無償化について

給食無償化の今後の取組について伺いいたします。

教育部長 国において、

公立小学校の給食無償化のための、財政的支援が具体化されるとの報道を受け、今後、国から示される制度の内容を調査研

究し、市内小学校の児童に係る、給食の無償化に向け準備していく。

また、中学校については、「できるだけ速やかに中学校へ段階的に拡大する。」との報道があることから、財源の確保が確実となった段階で、実施に向けた準備を進めたいと考えている。

